

機械器具 58 整形用機械器具
管理医療機器 歯列矯正用アタッチメント JMDN コード 41059000
スライデックス

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 本材はニッケル及びクロムを含有しています。ニッケル及びクロムに対し発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと
2. 再使用禁止
3. 最外側の 2 本のねじは装置を維持するためのものなので外さないこと

【形状・構造及び原理等】

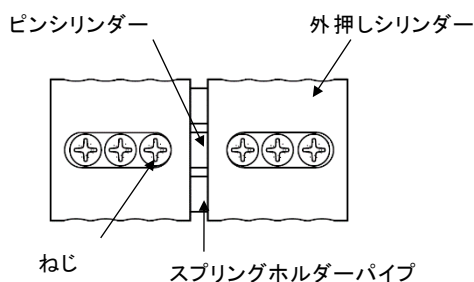
1. 形状、構造

本品の形状、各部の名称、及び寸法は、以下のとおりである。
スプリングはスプリングホルダーパイプに内蔵されている。

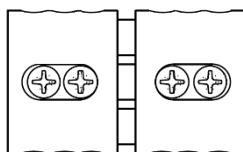
形状、構造の違いにより、次の種類がある。＊

	最小全長	拡張幅
スライデックス	17mm	2mm, 4mm, 6mm, 8mm
ミニ スライデック	13mm	2mm, 4mm

＜スライデックス＞



＜ミニ スライデックス＞ ＊



2. 原材料

外押しシリンダー：チタン
その他：ステンレススチール

3. 原理

本品は、ねじをはずして全長を伸長していくことにより、内蔵されたスプリングの力によって歯間あるいは顎の拡張を行う。

【使用目的又は効果】

他の器材に付けて矯正力を付与するために用いる。

【使用方法等】

1. 患者の口腔内模型（作業模型）を利用して装置を作成する。
矯正力に応じて過度のワックスを利用して口腔内模型上の適正な部位にスライデックスを固定する。口腔内模型の形態に合わせてワイヤーや維持具を調整する。歯科用アクリルレジンを利用して床を作製し、装置を埋没する。歯科用アクリルレジンの使用方法はその製品の使用説明書に従って行う。装置が完成したら、通常の方法により装置の研磨を行う。



←作業模型上の装置（例）

2. 活性化する。

メガネ用等の精密ドライバーで中心側のねじを左右交互にはずし、内蔵されたスプリングの力によって拡大を行う。ねじ 1 個はずつと約 2 mm 拡大する。



↑ 中心側のねじを左右 1 個ずつ、計 2 個はずつした状態

3. 装着する。

完成された装置は歯科医によって患者の口腔内に装着される。装置を両手でつかみ中心に向かってスプリングを縮めるようにしっかり押さえて口腔内に装着する。維持部を調整し、装置を口腔内の所定の位置に適切に装着する。その後、レジンの削合、維持部の再調整等、通常のエクスパンションスクリーと同じ調整を施す。



←完成した装置（例）

【使用上の注意】

- 1) 使用前には不純物の付着や残存がないことを確認し、アルコール等により本品を清浄にすること。
- 2) 装置を活性化する場合は、中心側のねじから順番に外すこと。
- 3) 患者へ装着する際には、ねじが緩んでいないか必ず確認すること。
- 4) 歯垢の癒着、食物の残留による口腔内疾患の誘発をさけるため、常に装置を清浄に保つこと。
- 5) 口腔内で本製品の削合や研磨は行わないこと。
- 6) 本品の変造、改造を行わないこと。
- 7) 破損や変形・変質を発見した場合は、使用せずに販売元に連絡すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

1. 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。
2. 水、湿度、塩分やイオウ分を含んだ空気などにより、悪影響が生ずる恐れのない場所に保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：

フォレストデント・ジャパン株式会社
東京都港区赤坂 2-10-12 生駒硝子ビル 2 階
電話： 03-6277-6980

製造元：

株式会社ナルコーム